

以下、本文-----

高知大学精神科を受診した認知症、およびその前駆状態が疑われる患者の経年変化解明研究

1. 研究の対象

2018 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日に、認知症、およびその前駆状態が疑われるため高知大学精神科で認知機能検査を含む精査を受けられた方です。

2. 研究目的・研究期間

我が国では高齢化が進み、2025 年には高齢者の 5 人に 1 人が認知症という割合になります。そのため認知症は临床上重要な病態です。認知症の原因となる疾患は様々ですが、殆どの疾患に対して根治療法が存在しないため、緩徐に進行していくことが多いです。本研究では、認知症、およびその前駆状態が疑われる患者さんの経年変化を明らかにします。また初診時や経過観察中の情報から、以降の経過を予測する因子を同定します。さらに一般診療で得られた、認知機能検査結果、神経画像検査結果、その他の臨床情報などを活用して、認知症や症状の原因等を明らかにし、かつ鑑別診断と他の疾患の併存の有無の診断に役立つ知見を明らかにします。

研究期間は、倫理委員会承認日 2021 年 6 月 29 日から 2026 年 3 月 31 日まで行う予定です。

3. 研究方法

電子カルテから「4. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載の情報を収集して分析し、検討します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、生年月日、病歴、臨床評価、認知機能検査、血液・脳脊髄液検査の結果、神経画像検査結果、薬物治療・その他の治療とその効果に関する情報などの一般診療に要した情報 等

5. 研究の成果

この研究で得られた成果を専門の学会や学術雑誌に発表する可能性があります。成果を発表する場合には、プライバシーは慎重に配慮します。個人を特定できる情報が公表されることはありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部神経精神科学講座

研究責任者 数井裕光

Tel：088-880-2359

-----以上